議会報告会報告書

令和4年2月16日

小田原市議会議長 大川 裕様

報告者 議会広報広聴常任委員長 井上 昌彦

議会報告会(議場見学会)の結果について、次のとおり報告いたします。

日 時 	令和3年12月17日(金曜日)午前9時00分 ~ 午前10時30分
場所	小田原市役所 議場
出席者	井上昌彦 角田真美 鈴木敦子 荒井信一
	池田彩乃清水隆男岩田泰明
参加人数	62名(町田小学校6年生児童60名、担任教諭2名)
内容	小田原市議会基本条例では、市民の意見を議会の審議や政策立案に生かすため、議会報告会や市民アンケートのほか、多様な媒体を活用し、広報広聴の充実を図るものと定められています。 そのような中、これまで要望に応じて対応を行ってきた議場見学会は、議会報告会と同様に議会活動の報告という広報の面と、意見交換による広聴の面があることから、令和3年度からは議会報告会の一つの形として以下のとおり実施しました。 内容 ・市議会議員から児童に対し、市議会や議場に関する説明 ・児童が社会の授業で事前に作成した資料について、タブレット端末を用いて発表 ・児童の質問に対し、議員が回答を行う質疑応答
主な質疑・意見等	裏面参照
その他	

<主な質疑等について>

【質疑】この仕事につこうと思った理由は何ですか。

【回答】自身が幼少期に地域の様々な方から関わることで、自分が生まれてきた意味を感じられるようになったため、そのような地域を作りたいと思ったからです。

同じ考えをもった方が集まる政党があり、自分はその政党の中の組織政党から代表として出るよう推選され、選挙に出て議員になりました。

【質疑】議員になるまでに大変だったことは何ですか。

【回答】議員になるためには選挙で当選しなければなりませんが、定数27人のところに37人の立候補がありました。それまでの仕事を退職し、アルバイトをしながら取り組んだ選挙が最も大変であった。

【質疑】今までで一番難しかった議題は何ですか。

【回答】南足柄市と小田原市の合併に関する二市協議です。議会では特に協議が必要な議題に対しては特別委員会等で協議・検討します。合併については小田原市だけで決めることができなかった点が難しい議題であったと思いました。

【質疑】議会で大変なことは何ですか。

【回答】色々な考えを持った議員が話し合うので、意見をまとめていくのが大変です。会議が長時間にわたる ことがあることや、他の議員の考えをしっかりと聞くことも大切なので、それが大変といえます。

【質疑】会議のとき、どのような内容を話し合っているのですか。

【回答】例として、三の丸ホールができるまでには、どんなデザインにするか、予算はどれくらいか、使いやすくするにはどうするかなど、非常に多くのことが話し合われていました。これからの例では市立病院の建て替えがあるので、その場合は今の病院の建物をどうするのか、次の建物はどういったものにするのかなどについて、市の職員と議員で他市の例を勉強したりしながら話し合われていきます。

【質疑】これまでで最も長い議会はどれくらいの時間までかかりましたか。

【回答】3択のクイズ形式とし、「午後8時」、「午後11時」、「午前2時」の選択肢のフリップを上げてそれ ぞれ正解と思うものに挙手を求めました。正解である午前2時に最も多くの挙手がなされました。

【質疑】議員になって一番力を入れた議題は何ですか。

【回答】日常生活で出たごみをどうしたら減らしていけるかは、市にとって重要な課題であり、一人一人が出す量が数グラムでも、市全体ではそれが何トンもの量になってしまうことから、ごみの減量化について自身の議員活動や議会で提案し、最も力を入れています。

【質疑】よく見るテレビ番組は何ですか。

【回答】病院や裁判所などを舞台としたドラマ、警察 24 時など

〇児童による学習発表

- ・人口減少とその対策について(5名)
- ・子育ての支援について(1名)
- ・防災対策について(1名)

※事前に社会の学習で作成した資料のデータをタブレット端末に保存し、そのタブレット端末を議場内のモニターに接続して計7名の児童が発表を行った。また、発表後には議会広報広聴常任委員会が発表に対する講評を述べた。